

Max Signal 動物用医薬品 / 抗菌性物質 ELISA テスト

Max Signal 動物用医薬品 / 抗菌性物質シリーズは、おもに、飼育・養殖・養蜂現場で使用され、特に輸入食品中での残留が危惧されている物質等の ELISA テストキットです。

各キットはそれぞれの物質に対し特異的な抗体を使用し、現場における使用薬剤の残留チェックや、ポジティブリストにおける不検出基準物質の多検体同時スクリーニングに最適なツールです。

簡便な抽出と約 2 時間弱の ELISA 操作で ppb レベルのスクリーニング検出・定量が可能です。

製造：PerkinElmer rev.2024.04

| | |
|-----|---|
| 商品名 | Max Signal |
| 価格 | 残留抗菌性物質 ELISA テストシリーズ 各種 84,000 円 (税別) |



MAX SIGNAL®

保管条件

冷蔵 2~8°C

長期保管の場合一部冷凍

| | | | |
|----------------|------------|-------------|------------|
| クロラムフェニコール | 3353BSA013 | オキソリン酸 | 3353BS1025 |
| フロルフェニコール | 3353BS1107 | フルメキン | 3353BS1059 |
| ストレプトマイシン | 3353BS1014 | フルオロキノロン | 3353BS1024 |
| ゲンタマイシン | 3353BS1027 | エンロフロキサシン | 3353BS1017 |
| エリスロマイシン | 3353BS1093 | サラフロキサシン | 3353BS1208 |
| リンコマイシン | 3353BS1206 | シプロフロキサシン | 3353BS1068 |
| β-ラクタム | 3353BS1065 | | |
| アモキシシリン | 3353BS1114 | テトラサイクリン | 3353BS1016 |
| コリスチン | 3353BS1095 | オキシテトラサイクリン | 3353BS1081 |
| ニトロイミダゾール | 3353BS1108 | クロルテトラサイクリン | 3353BS1082 |
| マラカイトグリーン | 3353BS1019 | ドキシサイクリン | 3353BS1083 |
| クリスタルバイオレット | 3353BS1029 | サルファ剤 | 3353BS1056 |
| フラゾリドン (AOZ) | 3353BS1015 | サルファメタジン | 3353BS1011 |
| フラルタドン (AMOZ) | 3353BS1020 | サルファメトキサゾール | 3353BS1054 |
| ニトロフラントイン(AHD) | 3353BS1070 | | |
| ニトロフラゾン (SEM) | 3353BS1069 | エトキシキン | 3353BS1109 |

製品内容

96 ウェル分割型マイクロプレート、抗体、酵素複合体と希釈液、発色基質液、反応停止液、抽出バッファー濃縮液、洗浄濃縮液、標準液、添加回収試験用標準液

目的・用途

ELISA (競合) 法による肉、魚類、肝臓、腎臓、牛乳、蜂蜜、飼料、血清、尿中の残留抗菌性物質のスクリーニング検出・定量 (適用試料はキットにより異なる)

原理・性能

ELISA (競合) 法

他に必要な試薬器材

マイクロピペット&チップ、抽出用器材 1 式、ボルテックス、遠心分離器、プレートリーダー450nm 等

感度・試料中検出限界

キットには数段階濃度の標準液が添付されており、アッセイの都度同時に測定して標準検量線を描きます。試料中の実際濃度は、前処理による抽出希釈倍率を検量線から得られた濃度に乗じて求めます。

| キット (50 音順) (感度 ppb) | 標準 LOD | 筋肉 肝腎臓 | 魚類 エビ | 乳 | 卵 | 飼料 | ハチミツ | 尿/血清 |
|-------------------------|----------------------------------|-----------|--------------|------|------|-------|------|---------|
| | 肝臓腎臓、エビの感度はそれぞれ筋肉や魚類と異なる場合があります。 | | | | | | | |
| アモキシシリン v01 | 0.2 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | | 30 | | 4.0 |
| エトキシキン v01 | | 1.0 | 1.0 | | | 1.0 | | |
| エリスロマイシン v01 | 0.5 | | 2.5 | | | | 3.0 | |
| エンロフロキサシン v01 | 0.1 | | 1.0 | | | 2.0 | 2.0 | |
| オキシテトラサイクリン v01D | 0.15 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 24 | 3.0 | |
| オキソリン酸 v01 | | 2.5 | 2.5 | | | | | |
| クリスタルバイオレット v01T | 0.02 | | 0.045 | | | | | |
| クロラムフェニコール v02F | 0.05 | 0.025 | 0.025 | | | | | |
| クロルテトラサイクリン v01D | 0.05 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 8.0 | 1.0 | |
| ゲンタマイシン v01A | 0.05 | 0.5 | | 0.2 | 10. | 1.25 | 1.25 | 1.0 |
| コリスチン v01A | 0.5 | 5.0 | | | | | | |
| サラフロキサシン v01 | 0.05 | | | | 1.0 | | | |
| サルファ剤 v01A | 0.5 | 1.1 | 7.2(IT' 0.4) | 1.3 | | 11.7 | | |
| サルファメタジン v02 | 0.25 | 1.0 | | | | | | |
| サルファメトキサゾール v02 | 0.5 | 0.7 | 4.4(IT' 0.1) | 0.3 | | | | |
| シプロフロキサシン v01 | 0.35 | 0.8 | | 2.4 | | 7.3 | | |
| ストレプトマイシン v01 | 0.5 | 5.0 | | 2.5 | | 5.0 | 10 | 5.0 |
| テトラサイクリン v04C | 0.05 | 0.4-1 | 0.5 | 0.2 | | | | |
| ドキシサイクリン v01D | 0.15 | 1.5 | 1.5(IT' 6.3) | 1.5 | 1.5 | | 3.0 | |
| ニトロイミダゾール v01B2 | 0.2 | 0.25 | 0.25 | | | | 2.0 | |
| ニトロフラゾン(SEM) v01F | 0.025 | 0.05 | 0.05 | 0.08 | | 0.6 | 1.8 | |
| ニトロフラントイン(AHD) v02F | 0.025 | 0.08 | 0.08 | 0.2 | | | | |
| フラゾリドン(AOZ) v03F | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | | 0.1 | 0.1 | |
| フラルタドン(AMOZ) v03F | 0.025 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.1 | 0.1 | |
| フルオロキノロン v01 | 0.1 | 1.2 | 0.7-1.1 | | | | 1.2 | |
| フルメキン v01 | 1.0 | 19 | 0.5 | | | 66 | | |
| フロルフェニコール v01 | 0.15 | 0.5 | 0.5 | 1.0 | 0.2 | 0.8 | 0.15 | |
| ベータラクタム v01D | 0.08 | 1.8 | 0.8 | 0.8 | 0.4 | 0.8 | 2.0 | 0.8-1.6 |
| マラカイトグリーン v04A | 0.05 | | 0.08 | | | 0.126 | | |
| リンコマイシン v02 | 0.1 | 1.0 | | 2.0 | | 1.0 | 4.0 | 1 |

交差反応について

キットはそれぞれ検出対象について特異的に反応する抗体を用いておりますが、類縁の物質についても一定の割合で反応・検知します。キットにより、非常に特異的に反応するものや、意図的に広い範囲で検知するものなどがあります。各キットの交差反応率については、別途お問合せください。



操作方法的例（約1～2時間）

（キットによりステップや時間が異なります。随時改良変更されますので、必ずキット添付の取扱説明書をご参照ください）

【抗体固相タイプ】

1. 適宜ウェルに標準液～試料液を滴下、全ウェルに酵素複合抗原液を滴下し、室温で60分間インキュベート、終了後ウェルを洗浄
2. 発色基質液を滴下し、室温で20分間インキュベート
3. 反応停止液を滴下し、プレートリーダーで吸光度を測定、濃度換算を行う

【抗原固相タイプ】

1. 適宜ウェルに標準液～試料液を滴下、全ウェルに抗体液を滴下し、室温で30分間インキュベート、終了後ウェルを洗浄
2. 酵素複合液を滴下し、室温で30分間インキュベート、終了後ウェルを洗浄
3. 発色基質液を滴下し、室温で30分間インキュベート
4. 反応停止液を滴下し、プレートリーダーで吸光度を測定、濃度換算を行う

抽出方法的例

（キットおよび試料により異なります。必ずキット添付の取扱説明書をご参照ください）

1. 脂肪を除きホモジナイズした試料に水・溶媒等を加えボルテックス振とうで抽出
2. 遠心分離後（キットによりさらに溶媒抽出や洗浄などを行い）抽出層をバッファー等で希釈

試験可能な検体数について

ELISA法では通常、数段階濃度の標準液を同時に試験して、その濃度と吸光度から標準検量線を描きます。そこに試料液の吸光度をあてはめ、抽出希釈倍率を乗じて実際の濃度を換算します。例えばゼロ標準液と5点の標準液を用いた場合、2連測定で12ウェルを検量線用に使用します。この場合、残りの84ウェルを試料に用いると、2連測定では42検体を試験できます。

3回に分けて使用すると、検量線36ウェルで、試料は60ウェルすなわち30検体を試験できます。

また、ある濃度でのスクリーニング試験として用いる場合には、標準用ウェルを減らして、試験検体数を増やすことも可能です。

ELISA用マイクロプレートリーダー ChroMate4300

ELISA測定に必要な405,450,492,630nmフィルターを装備したフルオートタイプの小型・高精度マイクロプレートリーダー
お手元のWindowsPCに付属のソフトをインストールしてすぐにご利用いただけます。

標準4波長タイプ 定価580,000円（税別）

標準6波長タイプ 定価640,000円（税別） 米国AwarenessTechnology社製

